

# 令和元年度 特別養護老人ホーム江美の郷 事業報告

(短期入所含む)

## 【総括】

入所の稼働は、目標数を達成することができたが、短期入所は、利用数の多い方が入院、入所され目標数を下回った。利用者の重度化に伴う介護量の増加から、予定していた活動ができなかったり、日頃の業務が職員の負担となったりした。職員確保と業務改善が最重要課題となっている。

## 1 【計画】

追加算定加算

栄養マネジメント加算	14 単位
介護職員等特定処遇改善加算（特養）	介護報酬の2.7%
介護職員等特定処遇改善加算（短期）	介護報酬の2.3%

## 【結果】

- ・栄養マネジメント加算は11月から順次算定している。令和2年4月から全員算定できる。
- ・介護職員等特定処遇改善加算は10月から算定した。

## 【過程】

- ・栄養マネジメント加算算定のための準備や主治医との確認を行い、9月から3月までに担当者会議をすることができた

## 2 【計画】

特養稼働率 96%。短期入所稼働率 74.6%を目指す。

入所利用数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延人数	1485	1516	1441	1534	1493	1472	
稼働率	99.0%	97.8%	96.1%	99.0%	96.3%	98.1%	
目標比	102.1%	100.9%	99.0%	102.1%	99.3%	101.2%	
前年比	107.5%	101.7%	100.2%	101.9%	102.8%	102.0%	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	1462	1423	1438	1501	1436	1532	17733
稼働率	94.3%	94.9%	92.8%	96.8	99.0%	98.8%	96.9%
目標比	97.3%	97.8%	95.7%	99.9%	105.7%	101.9%	100.2%
前年比	96.7%	97.9%	97.7%	104.6%	110.5%	104.1%	102.2%

## 短期利用数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延人数	214	244	239	243	182	213	
稼働率	71.3%	78.7%	79.7%	78.4%	58.7%	71.0%	
目標比	101.9%	112.4%	99.6%	98.0%	73.4%	88.8%	
前年比	110.3%	129.8%	159.3%	116.8%	72.2%	95.5%	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	241	243	241	253	221	124	2658
稼働率	77.7%	81.0%	77.7%	81.6%	76.2%	40.0%	72.6%
目標比	100.4%	101.3%	97.2%	102.0%	108.9%	57.1%	95.0%
前年比	100.8%	156.8%	109.5%	92.0%	101.8%	49.6%	103.4%

### 【結果】

入所は、稼働率 96.9%、目標比 100.2% で目標達成した。

短期入所は、稼働率 72.6%、目標比 95.0% で未達だった。

### 【過程】

入所は期間中の新規入所者は 9 名あったが、スムーズな入所ができたことに加え、入院者数が年間延べ 507 名（月平均 42.3 名；昨年比 285 名減、64.0%）だった為、稼働率向上となっている。

短期入所は 8 月と 3 月に、ほぼ毎日短期入所を利用されておられた方 5 名が入院、入所された事と、3 月に介護職員の人員不足から利用を縮小したため、稼働が低下した。

## 3 【計画】

生活面の質向上

安心、安全な生活のための健康管理（入院延べ日数 50 日／月以下）

- ・ 異常の早期発見、早期受診
- ・ 誤嚥性肺炎の予防。
- ・ 尿路感染症の予防
- ・ 骨折の予防。
- ・ 職員は感染症予防のための手洗い、うがいをする。

### 【結果】

- ・ 入院日数は年間延べ 507 日、月平均 42.3 日だった。

（昨年比；285 日減、64.0%）

- ・ 誤嚥性肺炎発症者 139 日。
- ・ 尿路感染症発症者 21 日。
- ・ 転倒事故等による骨折者 25 日。

### 【過程】

- ・ 嚥下状態に合わせた食事内容や介助方法を検討したり、陰部洗浄の徹底やインカム導入による職員の連携ができたことで、病気や怪我の発生を減少できた。

## 4 【計画】

環境面及び職員の質向上

1) 接遇への取り組み。安心できるサービスや環境の提供に努めます。

- ・ 接遇については、法人全体として、行動規範プロジェクトチームを作成し、

法人の基本方針に基づいた、尚仁福社会の職員としての在り方（接遇面も含む）を検討し、80項目のチェックシートが完成した。

- ・ご利用者やご家族等の意向確認のための満足度アンケートの実施（年1回）

#### 【結果】

- ・行動規範のプロジェクトメンバーとして特養からはメンバーとして、2名参加した。
- ・ご利用者、ご家族等の満足度アンケートについては、外部業者に委託して令和元年3月に実施している。

#### 【過程】

- ・今年度は接遇チェックシートの活用はしていない。行動規範プロジェクトを通し、職員1人1人の組織で対人援助をすることへの意識の向上を図った。
- ・満足度調査アンケートについては委託業者からの回答待ち。

#### 2) 働きやすい職場づくり。

- ・介護助手の導入と活用。
- ・IoT（人を問わず物がインターネットと繋がる技術）等の活用による業務負担の軽減
- ・調理済み食材を効果的に活用し、業務負担の軽減と人材確保難に対応
- ・有給の取得促進（年間5日）
- ・ノーリフトを推進し、腰痛ゼロを目指す
- ・個別面談の実施（年2回）

#### 【結果】

- ・介護助手については、掃除部門1名、介護の部門1名、シーツ交換、下膳、パット補充の部門1名、夕食の下膳、食堂の掃除の部門1名がいる状態で、介護職員と介護助手の仕事の切り分けが少しずつできるようになっている。
- ・インカムとセンサーベッド5台を追加導入し、インカム・ナースコール・ちょうじゅ（電子記録システム）の連動を実施し業務負担の軽減につながっている。
- ・対象職員全員（42名）が5日以上の有給休暇を取得することができた。
- ・リハビリスタッフが在籍していないことと、ご利用者の状態が重度化しており、スライドボードの活用がうまくできていない。
- ・職員1名が12月にベッドから車いすへの移乗の際に、腰をひねり1か月休職された。
- ・施設長による個別面談を行った。

#### 【過程】

- ・介護助手の活用がうまく活用できつつあるので、介護職員と介護助手の仕事の切り分けができています。
- ・スライドボードの活用については全職員がきちんと活用できるように勉強会等が必要。

### 5 【計画】

#### 食事内容の充実

- ・介護食 ソフト食、ペースト食等工夫した食事提供
- ・希望食・選択・行事食などメニューの提供方法に工夫を加え楽しみを持って頂けるよう努める

- ・食中毒・感染症予防に注意し、安全な食事提供を行う
- ・食事の提供間違いゼロを目指す

#### 【結果】

- ・見た目でも食事を楽しんでいただけるように、ソフト食は型抜きにしたり工夫をした。
- ・行事食の時は、厨房職員がお品書きを作成し食事提供を行った。
- ・行事食のみの実施で、選択メニュー・希望食の実施ができなかった。  
また、3月は調理済み食材利用への切り替えで、行事食を行うことができなかった。
- ・決められた品数が用意されていない膳をセットしてしまうことが毎月発生した。

#### 【過程】

- ・行事食のほかに手作りおやつを提供をしていく。
- ・クックチルには選択メニューの日があるのでそれを利用していきたい。
- ・誤った膳のセットをした時はチェックシートを作成し、どの品を付け忘れることが多いか毎月ミーティングで共有する。

### 6【地域交流】

1. 保育園運動会の観覧（5月）
2. 家族会の開催（6月）
3. 十七夜参加（8月）
4. 江府中学校の校舎を磨く会への参加（9月／職員5名参加）
5. 秋祭り（9月）

#### 【結果】

- ・保育園運動会に2名参加された。
- ・家族会は、職員の体制が整わなかったことと、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった。
- ・中学校を磨く会に3名参加した。
- ・秋祭りは10月に開催した。

#### 【過程】

計画的に実施することが不十分であったため、直前で参加者を決定したり、実施に至らなかったため改善が必要である。

### 7【行事計画】

4月	花見	10月	運動会
5月	鯉のぼり見学	11月	紅葉見学
6月	花回廊	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	新年会
8月	江尾十七夜	2月	節分
9月	秋祭り、敬老会	3月	雛祭り

#### 【結果】

- ・花回廊への外出は6月に実施できず7月に実施した。七夕、江尾十七夜については通常通り実施することが出来た。
- ・4月の花見、5月のこいのぼり見学は都合により実施できなかった。

- ・9月は敬老会を実施した。
- ・10月に規模を縮小してであったが秋祭りを実施した。
- ・10月の運動会は実施していない。
- ・11月、12月、1月は体調を崩したり家庭環境の都合で出勤できなくなった人員が複数あり、人員体制が整わず、行事を実施することができなかった。
- ・2月は短時間であったが節分を行った。
- ・3月はコロナウィルスの関係でイベントは中止とした。飾りつけのみ。

#### 【過程】

- ・上記のとおり。

### 7【資格取得計画】

〈計画達成のための具体的行動と達成の指標と基準〉

(資格)

- ・介護福祉士（合格目標者数1名）
- ・介護支援専門員（合格目標者数1名）
- ・喀痰吸引研修（0名）
- ・管理栄養士（1名）
- ・認知症実践者研修（1名）

(研修)

- ・記録システム有効活用のためのパソコン研修（育成数2名、4月）
- ・介護技術研修（5月）
- ・アンガーマネジメント研修（9月）
- ・外国人技能実習制度について

#### 【結果】

- ・認知症実践者研修7月に1名受講し終了した。
- ・介護技術研修（5月）職員不足のため参加できなかった。
- ・アンガーマネジメント研修職員不足のため参加できていない。
- ・外国人技能実習制度について、実習指導員研修を受講した。
- ・喀痰吸引研修も職員不足のため参加できていない。
- ・介護福祉士1名受験。合格0名。
- ・介護支援専門員3名受験。合格0名。
- ・管理栄養士合格0名。
- ・パソコン研修実施できなかった。

#### 【過程】

- ・パソコン研修富士データシステムと検討中。

#### 【課題】

- ・介護長代理を配置し、介護職員等の業務の見直しを行っている。介護助手と介護職員の仕事の切り分けが出来つつある。今後も常に業務の見直しを行い、少ない職員でも業務が円滑に行えるように知恵を出し合って、工夫することを継続する必要がある。
- ・職員の腰痛予防の観点から、福祉用具の活用をもっとできるようにしていきたいが、専門職種（セラピスト）が不在であるため、本当に正しいのかは疑問である。時間内に少しずつ勉強会を開催するよう努める必要がある。

# 令和元年度 グループホーム江美の郷 事業報告

## 【総括】

稼働率 96.0%は、97.0%で達成できました。今後も目標達成できるように健康管理に努め異常の早期発見に努める。

### 1 【計画】

全国平均稼働率 96%以上を目指し安定した運営をする

#### 【結果】

平均 97.0%で目標達成できた。

#### 【過程】

入院者があったが退院され安定して利用して頂けた。

### 2 【計画】

健康管理

#### 【結果】

異常があれば早期に受診する様にしたが入院になってしまい、なかなか原因が特定できず長期の入院になってしまった。退院されてからは安定して利用して頂けた。

#### 【過程】

体調の変化に気付けるように日々の生活の中で様子観察をする。

### 3 【計画】

生活の中の「こだわり」を大切にする。

#### 【結果】

ご本人やご家族の希望を伺い外食等を実施出来た。1月のインフルエンザの流行期から今回の新型コロナウイルス感染症の流行により、外出・面会等制限があり十分に出来なかった。

#### 【過程】

毎月のミーティング時に気になる事があると話し合いケアの統一に努めた。ケアに不均衡が出ないように連絡ノート等を使い情報の共有に努めた。

### 4 【計画】

認知症の進行を抑制する。

#### 【結果】

季節感のある行事等を実施しデイサービスと合同の音楽療法等に参加した。今年度認定調査が6名の方が受けておられ結果は下図の通りです。

	介護度		障害高齢者自立度		認知症高齢者自立度	
A	1	1	A2	A2	Ⅲ a	Ⅲ a
B	1	1	A1	A2	Ⅲ b	Ⅱ b
C	3	5	J 2	C 2	Ⅲ a	Ⅲ a
D	1	3	J 2	A2	Ⅱ a	Ⅲ a
E	2	3	A2	B1	Ⅲ a	Ⅲ a
F	3	2	A2	A2	Ⅲ a	Ⅲ a

この結果から皆様認知症高齢者自立度は大きな変化がなく過ごしておられます。おひとり悪化した方がおられますが入所されて初めての認定調査であり、環境の変化は大きいと考えられます。残り5名の方は入所されて数年が立っており、グループホームでの生活が落ち着いて送れていると考えられます。

#### 【過程】

出来る事はご自分でして頂きその方に合った介護を提供する。出来ることまで職員が取り上げることなく待つ介護をする。

#### 5【計画】

サービス品質向上のためのセルフチェックの実施

#### 【結果】

法人実施のアンケート調査を使用する。結果が出次第ミーティングで話し合い改善して行く。

#### 6【地域交流計画】

1. 家族交流会の開催 3月29日に予定していたが中止する。
2. 江府中学校の校舎を磨く会への参加 職員1名参加
3. 保育園運動会の観覧 2名参加
4. 十七夜を楽しむ 8名花火を見物される。  
その他 老人クラブ女性委員会の慰問があった。

#### 7【職員教育計画】

1. 内部研修及び外部研修会へ積極的に参加する。  
内部研修 参加出来ている。  
外部研修 江尾診療所が開催するプライマリーケアの研修には参加出来ているが、その他の外部研修には参加出来ない。
2. 認知症専門ケア加算要件の研修会へ1名以上参加する。  
参加出来ない。
3. 介護支援専門員に1名以上合格する。  
合格者なし。

#### 8【行事計画】

計画通り実施出来ている。その他種々計画し実行しているが、現在は新型コロナウイルス感染症のためグループホーム内での行事のみになっている。

(計画例) 歌謡ショー・老人クラブの慰問等・音楽療法

# 令和元年度 デイサービスセンター江美の郷 事業報告

## 【総括】

稼働実績は4月から順調に伸ばすことが出来ていたが、7月、8月は入院や体調不良者、大雨土砂災害警報による営業中止等が重なり目標数値を達成することが出来なかった。9月～11月は営業等を行い立て直すことが出来たため、稼働率は85%まで回復した。ボランティアの方々の行事、音楽療法等を他部署と連携して行うことが出来た。冬季は体調不良者も多く、施設入所や冬季休みの方も多く、プラン数の利用に届かず稼働率が落ちた。

## 1 【計画】

稼働率 80%を目指します。

### 【結果】

4月：83%、5月：83%、6月：85%、7月：78%、8月：76%、9月：85%、10月84%、11月85%、12月77%、1月74%、2月72%、3月74%

### 【過程】

7月、8月大雨土砂災害警報による営業中止があった。春から新規契約が3か月取れないなど入所等で空いた穴が埋められなかったが、その後10月以外ではコンスタントに新規契約を取ることが出来た。冬季は体調不良者も出やすかったが、過ごしやすい季節においては休みも少なく決まったプラン数の利用がみられた。

## 2 【計画】

レクリエーション年間計画に沿った季節の行事、外出支援の計画し生活意欲向上を目指します。

### 【結果】 ※行事予定以外に追加したもの

- 4月：ボランティアによるピアノ演奏、(生活レク強化月間)
- 5月：(脳トレ強化月間)
- 6月：(下肢筋力強化月間)
- 7月：(生活レク強化月間)
- 8月：ボランティアによる傘踊り、演奏会
- 9月：歌のボランティア
- 10月：(生活レク月間)
- 11月：(脳トレ月間)
- 12月：(下肢筋力強化月間)
- 1月：ピアノボランティア
- 2月：変わり湯 (みかん湯)
- 3月：(生活レク月間)

### 【過程】

年間計画に沿って修正を行いながら目的をもってレクリエーションの提供に繋げる事が出来た。今年度はご協力もあり、ボランティア行事を多く計画することが出来た。手作りおやつは9月から衛生上の観点から中止としている。1月に生け花を設定したが、花がないので中止として来年度から手頃に入手できる春開催に変更する。

### 3 【計画】

お客様アンケートを年に一回行います。

### 【結果】

11月～12月で行う予定。

### 【過程】

法人の実施するアンケートとは別に、現場のサービスの質向上に反映しやすい質問のアンケートを実施した。昨年度の法人のアンケートでは、送迎時間の統一を希望する声が多数見られたが、独自で行ったアンケートでは改善して欲しい点は少なく、「ほぼ満足している」という結果が出た。次回から遠慮なく回答しやすいようなものに修正する必要があるのか検討する。

### 4 【計画】

事故報告0件を目指します。

### 【結果】

4月：0件、5月：1件、6月：6件（うち人為的ミスによる事故4件）7月：2件、8月：1件、10月：1件、11月：3件、12月：3件、2月：1件

### 【過程】

事故報告が発生した場合、その日のうちにカンファレンスを行い、その場限りにならない再発防止策を立案するよう取り組んでいる。ヒヤリハットについては、事業所のみで記録に残し、翌日朝礼で周知し観察を行うよう徹底している。

### 5 【行事計画】

4月	花湯、花見、音楽療法	10月	音楽療法、GH合同運動会、変わり湯、エミーズカフェ外出支援
5月	花回廊外出支援、鯉のぼり見学、藤の花見学、音楽療法、おやつ作り	11月	外出支援（紅葉見学）、音楽療法、おやつ作り
6月	菖蒲湯、おやつ作り、音楽療法、	12月	変わり湯、クリスマス会、変わり湯、音楽療法
7月	エミーズカフェ外出支援、七夕飾り作り手芸、音楽療法	1月	新年会、書初め、生け花、初釜、音楽療法
8月	デイ夏祭り、ひまわり湯、音楽療法、	2月	変わり湯、音楽療法、節分
9月	音楽療法、おやつ作り	3月	ひな祭り、おやつ作り、音楽療法、エミーズカフェ外出支援

**【結果】**

5月花回廊外出支援が届出書作成のミスがあり6月に延期。他、遅延なく行えている。追加行事については計画2を参照。

**【過程】**

エミーズカフェ外出支援では、B型事業所の協力を得ながら行っている。また、誘導時では転倒等の事故なく安全に移動ができるよう本部職員の応援も依頼しながら行っている。

**【課題】**

勤務都合で短時間勤務のため送迎に行かれない職員が3名いる為一日の必要な職員数(7名)と送迎に必要な職員数(5名)で誤差が出る為多めに付けなければならず勿体なさがある。

春になれば利用者数の受け入れが増加してくるので曜日ごとの特徴を捉えながら全ての曜日を30名に揃える努力が必要だと考える。そのためにプランドオフィス等の居宅と情報共有、連携しスムーズな対応を目指したい。

## 令和元年 まめトレ 事業報告

### 【総括】

4、5月は計画通りに利用があったが、6月から農繁期になり半数へ減少した。

体調不良になり利用中止の方々も9月になっても利用再開の連絡はなし。介護認定により卒業され、あやめ通所リハビリへ移行された方1名。地域包括支援センターと連携し良い流れが出来たと考える。

ヨガマットを使用したストレッチやバランスボール、ハードルを使用したトレーニング内容を追加し、今までより負荷のかかるものを提供し体力維持への意識向上を図っている。

毎月季節に合った歌体操を提供し、毎月の楽しみになるよう工夫した。

### 1 【計画】

登録者数 30 名に目指します。

#### 【結果】

登録者数 25 名。 利用実人数 一般高齢者 15 名、予防 2 名

#### 【過程】

7月から火曜日午前中に8名利用があるが、午後の利用数は2名から変動しない。デイサービスと兼務の為営業に行くことができず、チラシ等の情報からの連絡、地域包括支援センターからの紹介を待つしかない状況である。金曜日は午前中8名、午後利用なし。

### 2 【計画】

楽しく運動、交流、外出を提供

#### 【結果】

毎月のコーディネーショントレーニングはライズ監修の内容を提供している。

10:00~11:00	ストレッチ、機能訓練（ボール、棒、バランスボール、ハードル、ラダー等使用）、歌体操、
11:00~11:30	交流
11:30~12:00	コーディネーショントレーニング

ライズ生田氏にアドバイスを頂きながら、機能訓練のところは職員が工夫し提供している。

#### 【過程】

月に2回生田氏に来て頂き、実際の利用者様のトレーニング状況を確認して頂きアドバイスを頂いている。

#### 外出支援

4月：花見、買い物

5月：安来節演芸館、買い物

11月：境港なかうら、美保関

**【地域交流】**

6月、12月福祉保健課加藤敦子様への食の講習会をして頂いた。

**【結果】**

年2回の予定でとても好評を頂いた。

**【過程】**

「健康寿命を延ばす」のテーマでの嚥下や食の話、体操をして、簡単なおやつ  
の調理をして頂いた。

**5 【行事計画】**

4月	花見	10月	食生活講習会
5月	食生活講習会	11月	外出
6月		12月	
7月	外出	1月	新年会
8月		2月	
9月	江府町文化祭作品制作	3月	

**【結果】**

外出：4・5月実施変更で7月は熱中症予防の為、中止した。食の講習会は先  
方の都合等により6月、12月に実施。1月新年会はボランティア等呼ばず、  
ライズ生田氏に特別正月メニューとしてコーディネーショントレーニングを  
実施して頂いた。そのあと桜小路のお弁当を楽しんで頂いた。

**【課題】**

午前中の利用6～8名あるが、午後の利用人数増加がない。営業に行けない  
中でどう利用者数を増やせるのかが課題である。

## 令和元年度 訪問介護事業所江美の郷 事業報告

### 【総括】

特定事業所加算Ⅰは今年度の実績で条件を満たせなかった為、令和2年度は特定事業所加算Ⅱで県に申請をした。

利用者数は開設当初から増加傾向にあるが介護認定更新等で要介護度が軽くなった御利用者が増え、算定要件の重度要介護者（要介護4・5又は認知症日常生活自立度Ⅲ以上）の逝去と施設入所が重なり、満たせず継続ができなかった。

### 利用者一覧

	新規	再開	入院	入所	休止	廃止	死亡	利用実人数合計 (障がい居宅)
4月		4	1	1				30(3)人
5月	1	2	1				3	29(3)人
6月			1					28(3)人
7月		2	1			1		30(2)人
8月	3		3					30(2)人
9月		2	1					31(2)人
10月	2	(1)	1					32(3)人
11月			2	2				28(3)人
12月		1	1					28(3)人
1月	1			2	1			26(3)人
2月				1				25(3)人
3月	1							26(3)人

### 1【計画】

介護福祉士を中心とした職員で特定事業所加算Ⅰを継続する。

### 【結果】

職員の資格取得は最低限確保出来ているが外部への研修が勤務シフト上難しく、事業所の向上検討と法人の内部研修に参加し、資質と能力の向上を行った。

総括でも挙げたが重度要介護者の受け入れは行っているが、亡くなられたり、介護度が認定更新等で変更になったりし、特定事業所加算Ⅰを取得した時には年平均6名あったが3月現在0名となった。その為、来年度は特定事業所加算Ⅱで申請をした。

### 【過程】

前年度、重度要介護者等対応要件を満たした事により、加算Ⅰ（20%）の継続が出来ていたが今年度は満たせず継続出来なかった。

### 2【計画】

営業時間を6時～20時とし、緊急時と夜間加算の算定、年中無休の提供としニーズの幅を広げる。

### 【結果】

夜朝加算の対象者はなかった。年中無休の対応で年末年始も稼働し、医療機関や通所サービスが休みでも連携して曜日変更等を行い対応した。

昨年度同様、冬期入所や入院等の利用者が増えたが、常勤換算（2.5人以上）も満たす為、登録ヘルパー中心で稼働した。

年末から職員の忌引きや体調不良が重なったが、営業時間内、曜日変更等で対応が出来た。

### 【過程】

6時から20時の営業時間の体制があり、いつでも対応可能であるが、現状では利用者のニーズがないのと、8時半から17時半の間の利用者が主で、常勤の勤務体制の調整もあり、早朝・夜間の継続性のある対象者には登録ヘルパーの稼働と常勤の早番・遅番の体勢、予定外の登録ヘルパーへのカバーを考える必要があり、少人数体制では難しい状態である。（職員は4名だが常勤換算は平均2.6）

## 3 【計画】

年に1回のお客様アンケートを行い、訪問介護への評価をして頂く。

### 【結果】

法人実施のアンケートを利用した。結果が出次第、確認をしてミーティングの際に全職員に周知をした。

### 【過程】

昨年度よりアンケートを行っているが不満以下の回答は無かったが、今後安心して過ごして頂く様、職員それぞれが再確認し、事故のないよう早期発見等で支援をするよう話し合いを行った。

## 4 【計画】

営業エリアは江府町を主とし、日野町へのエリア拡大は継続する。

### 【結果】

営業エリアは江府町を中心に動いており、日野町は昨年度と比べると利用者の入れ替わりはあるも5件と増減なし。

今現在の人数では1日3人以上の職員で稼働をすることができず、希望の日程に沿えない状況であるが、江府町のニーズを模索し、江府町を中心に訪問していく事は継続したい。

### 【過程】

他町は移動距離の関係もあり、江府町を中心としたエリアで対応しつつ検討していきたい。日野町も1件は黒坂だが特別理由があつての利用者で、エリアとしては根雨周辺を受け入れている状態。

## 5 【計画】

IoT（人を使わず物がインターネットと繋がる技術）機器を有効に使用し、業務の効率化を図る。

### 【結果】

9月に富士データシステム社に来て頂き、電子記録システム「ちょうじゅ」を今以上に使いやすく管理出来るよう調整を行った。全てではないが、以前より円滑に事務処理が出来るようになった。障がい居宅サービスの「くれよ

ん」使用に関しては金額の問題もあり見送りとなった。

**【過程】**

介護計画書・スケジュール・連携入力・モニタリング様式について調整して頂き、その場で解決する事もあり、早速活用出来ている。現在、モニタリングについては他事業所と同様の様式を活用している。

**6【地域交流計画】**

江府町民生委員会への参加。

**【結果】**

1月に開催された民生委員会へ参加させて頂いた。その後、日程調整が難しく出席出来ていないが、プラントオフィスは出席しているので情報を共有している。

**【過程】**

江府町民生委員会に出席して、訪問介護について資料を配布し説明をさせて頂いた。

別件では江府町職域球技大会に参加をした。

**7【職員教育計画】**

職員の技術、質の向上を図る。

**【結果】**

外部研修に参加する事が難しく、法人内と江尾診療所主催のプライマリー研修への参加をした。全員が参加出来なかった研修に対しては事業所内で報告をし、意見交換を行った。

手順書を元にサービス提供を行っているが、利用者の体調等により前日の訪問指示や訪問前での連絡・訪問中の急遽の対応等について、サービス提供責任者を通し解決に向けて支援する事ができた。

**【過程】**

サービス提供責任者も訪問も行うが2人体制とし、登録ヘルパーからの連絡がどちらかにはつくようにしており、早期対応をするにあたり効率よく動けるようにしている。

**【課題】**

特定事業所加算Ⅰの再取得について、重度要介護者の受け入れは行うも今のままでは条件を満たせない。今後、重度要介護者の増加と継続性を判断し最短であれば直近3カ月の実績、次年度末の実績でⅠの取得を考えていきたい。(近辺の事業所は特定事業所加算Ⅱが主である。)

職員が4人ではあるが体制としては3人に満たない状況であり、利用者の新規契約と売り上げを上げる為には、登録ヘルパーの増員が必要である。

## 令和元年度 居宅介護支援事業所ブランドオフィス 事業報告

### 【総括】

毎月新規の依頼が平均3件来ている。令和元年11月に122名をピークに冬季入所あり3月まで利用人数は減少している。令和2年4月以降、冬季入所から退所される方もあり、利用人数は120名を超えて推移していくと思われる。

### 【事業計画の進捗状況】

#### 1 【計画】

利用者の月目標人数は合計で1名以上増加を目指す。

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	84	84	88	90	84	75	77	77	85	81	77	76	76
要支援	32	31	31	30	34	35	35	35	37	37	40	39	39
合計	116	115	119	120	118	110	112	112	122	119	117	115	115

#### 【結果】

平成31年3月に比べて令和2年3月で1件減少している。

#### 【過程】

要介護が減少して、要支援の新規が増加している。事業対象者の委託も包括から受けて担当している。

#### 2 【計画】

特定事業所加算Ⅲの維持継続を目指す。

#### 【結果】

継続実施している。

#### 【過程】

- ・サービス提供のための留意事項に係る伝達を目標にした会議を定期的（概ね週1回以上）開催する。
- ・24時間連絡体制の確保と必要時、相談に応じる体制の確保を行う。
- ・計画的な研修の実施をする。
- ・地域包括から紹介の困難事例に対応する。
- ・地域包括が実施する事例検討会等に参加する。・・・月1回の日野町包括支援センター主催の「見える事例検討会」に継続参加していく。
- ・運営基準、特定事業所集中の減算の適用を受けていない。
  - (1) 令和元年9月15日までに申請を行い⇒令和元年9月～令和2年2月までの特定事業所集中減算の適用なし。
  - (2) 令和2年3月15日に申請を行っている。
- ・ケアマネ一人当たりの担当平均件数が40件未満とする。（要介護35人、要支援10人を目安）
- ・介護支援専門員実務研修の実習受け入れを行う。
- ・常勤専従の主任ケアマネを配置する。・常勤専従のケアマネを2名以上配置する。

### 3【計画】

既に算定している加算を継続実施する。

加算名称	加算単位
特定事業所加算Ⅲ	300 単位 (1 月)
居宅支援初回加算	300 単位 (1 月につき)
居宅支援入院時情報連携加算Ⅱ	200 単位
居宅支援入院時情報連携加算Ⅰ	100 単位
居宅支援退院退所加算	300 単位

#### 【結果】

継続実施している。

### 4【計画】

介護支援専門員を1名増員して、4名体制を目指す。

#### 【結果】

令和2年4月6日より、介護支援専門員が1名採用されて増員となった。

#### 【過程】

- ・介護支援専門員の募集
- ・介護支援専門員試験受験資格者への受験の促し
- ・介護支援専門員試験受験者への試験対策のフォロー

### 5【地域交流計画】

江府町民生委員会への参加

#### 【結果】

- ・令和2年1月30日に民生委員会に参加した。引き続き令和2年3月24日に民生委員会に出席している。

#### 【過程】

- ・江府町民生委員会に出席して、意見交換とその地区の住民さんの状況把握と介護保険制度の説明を行う。また、担当利用者様の情報交換を行うことができた。
- ・別の形で、8月31日江府中学校の掃除参加、江府町の球技大会への参加をしている。

### 6【職員教育計画】

内部及び外部の研修会へ積極的に参加する

#### 【結果】

継続実施する。

#### 【過程】

- ・介護保険制度についての研修
- ・ケアプランについての研修・・・見える事例検討会：毎月第2水曜日に開催、ケアマネ3名出席する。
- ・接遇研修
- ・高齢者虐待防止・権利擁護の研修・認知症を含む疾患についての研修
- ・介護の技術・知識に関する研修・身体拘束についての研修
- ・コンプライアンスについての研修・苦情解決のための研修

・防災に関する避難訓練の実施

7【職員教育計画】

主任介護支援専門員の資格更新を行う。(佐々木学)

【結果】

主任介護支援専門員更新研修の受講を実施した。

【過程】

主任介護支援専門員更新研修の受講を行う。⇒令和元年6月～10月で8日間  
(佐々木学)

8【関連事業計画】

生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)の継続実施

【結果】

実際の援助は令和元年度はなし。事業は継続実施する。

【過程】

・生計困難者に対する相談事業の実施と、その研修へ参加する。⇒えんくるり事業(生計困難者に対する相談支援事業)を平成29年7月1日に事業開始している。

9【関連事業計画】

社会福祉士実習生の受け入れの実施

【結果】

実習生の受け入れの依頼はまだ来ていない。

【過程】

法人内部の関係部門への協力体制の確立

⇒受け入れ資格はあり。具体的な受け入れの話が来たら体制を整える。

【課題】

担当人数が増えつつあり、一人の担当40人までに近づきつつあるなかで、業務量が多く、残業も多い。事務処理の能力アップと介護支援専門員の1名増員により、業務の分配を行い残業減少と定時での業務終了を目指します。

# 令和元年度 介護老人保健施設あやめ 事業報告

(短期入所含む)

## 【総括】

目標数の達成には程遠く伸び悩む。幸いにも入所待機者が40名程いるので、随時面接をしながら入所人数を増やすことにあたってはいるが、前回の報告内容と同じく、体調不良による入院・死亡、退院延期等が多く実質の増加に至っていない。今後も引き続き入所者数を増やすべく努力し、現在の目標70名を達成したい。他に感染症については1人も感染者を出さなかった。また、「ターミナルケア」(看取り)については4名あった。引き続き感染予防や家族様の要望に真摯に取り組んでいく。

## 入所利用数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日数	30	31	30	31	31	30
延べ人数	1624	1568	1560	1583	1556	1563
稼働率(80人)	67.6%	63.2%	65%	63.8%	62.7%	65.1%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	31	30	31	31	29	31
延べ人数	1717	1752	1793	1809	1689	1749
稼働率(80人)	69.2%	73%	72.2%	72.9%	72.8%	70.5%

## 1【計画】

「入所稼働率85%/年間を目指す。」

### 【結果】

上記の通り、進捗状況は芳しくない。

随時入所しているが、今いる入所者の高齢化に伴う、体調不良や死亡により、増減を繰り返して結果入所者数の増加になっていない。今後も入所希望者との面談を継続し精力的に勧め、毎月5名の入所を目指す。

## 2【計画】

「安心して療養していただくための健康管理」

### 【結果】

概ね実施できている。

## 3【計画】

「生活の中の『こだわり』を大切にします」

### 【結果】

職員ひとりひとりに余裕がなく、ゆっくり入所者の方々と向き合えていないことが見受けられる。また、入所期間の長い方が多くなってきているせいか、マンネリ感が漂っており、一人一人のプロ意識が薄らいでいる為、積極的な働き掛けが出来ていない。また、入所者の衣類の整理整頓ができておらず、また衣類の取り間違い等が発生。記録の内容が薄く、単純でわかりにく

いので何が必要でどうなのかという前向きな問題提起ができないまま毎日が過ぎている。

#### 4【計画】

「ADL・IADLの維持向上を目指した効果的なりハビリテーションを実施します」

##### 【結果】

冬季入所者が増え、前期に比べ短期集中リハビリ・認知症短期集中リハビリ算定者が増加した。春の在宅復帰予定に向け自宅での生活を想定してリハビリを実施していたが、2月にリハビリ職員数減少に伴いリハビリの実施回数を減らざるを得ない中で退所者の退所時指導を随時実施した。

#### 5【計画】

「相談支援の強化をし、法人内での連携を行います」

##### 【結果】

昨年採用になったケアマネの成長具合が思わしくなく、周りの先輩職員によってフォローされながら業務をこなしていた。今後は入所のスピードアップを図り、少しでも入所者の増加につなげる。

#### 6【行事計画】

4月	花見	10月	花回廊ツアー
5月	藤の花見	11月	紅葉ドライブ
6月	ドライブ	12月	クリスマス会
7月	納涼会	1月	新年会
8月	江尾十七夜（花火）	2月	節分会
9月	敬老会	3月	ひな祭り

##### 【結果】

8月に「介護フェアinあやめ」を実施。入所者の方々や御家族にも見に来てもらい、楽しんでいただいた。9月の敬老会も施設内外から催し物を披露していただき、また江府町長の参加もあって盛大に行えた。施設外での行事に関しては、職員の配置等難しくなかなか出来なかった。今後の計画に盛り込み実現に近づけたい。

#### 7【資格取得計画】

介護福祉士	1名以上合格
介護支援専門員	1名以上合格
初任者研修修了	1名以上合格
実務者研修修了	2名受講
喀痰吸引研修修了	2名受講
アセッサー資格	1名取得

##### 【結果】

介護福祉士は4名受験し2名合格。

介護支援専門員は2名合格。

### 【課題】

入所者の人数が新規を受け入れているにも関わらず、低迷状態で残念な結果となっている。しかしながら、入所待機者が数十名おられ、また入院されている方の退院再入所希望もある為、今後に向けて悲観はしていない。テンポよく業務を進めて入所者数の増加につなげる。ただ、職員の中には、家庭や自身の身体に不安を抱える者もいるので、この点に注意・フォローしながら、上司・他の職員による声掛けや配慮をしていき、他の職員との連携・助け合いを意識的に持っていくように努めていきたい。

## 令和元年度 あやめ通所リハビリテーション 事業報告

### 【総括】

目標については、やや伸び悩んでいるが日々の利用人数もほぼ20人台で推移、多くても25人程度となっている。新規通所利用希望者もおられるので、随時面接をしながら通所利用人数を増やすことにあたってはいる。前回の報告内容と同じく、体調不良による入院・死亡・欠席が多く実質の増加に至っていない。今後も引き続き通所利用者数を増やすべく努力し(利用回数を増やす等)、目標25名/日を達成したい。

尚、昨年10月より定員数40人を30人に減としている。

### 通所利用数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日数	26	27	25	26	26	25
延べ人数	703	676	589	601	580	528
稼働率(40人)	67.5%	62.5%	58.9%	57.7%	55.7%	52.8%
1日平均	27	25	23.6	23.1	22.3	21.1

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	27	26	25	24	25	26
延べ人数	589	559	510	493	500	559
稼働率(30人)	72.7%	71.6%	68%	68.4%	66.6%	71.6%
1日平均	21.8	21.5	20.4	20.5	20	21.5

### 1 【計画】

「定員40名に対して、60%以上の稼働を維持する。」

#### 【結果】

上記の通り、進捗状況は芳しくない。

#### 【過程】

今いる利用者の高齢化に伴う、体調不良や死亡・復帰により、増減を続けており、結果実質の大幅な通所利用者数の増加につながっていない。今後も通所利用希望者との面談を継続し利用者増加に勧める。

### 2 【計画】

「ご利用者様が、安全に且つ楽しんで利用していただけるように、利用者様個々に応じたケアに努め、骨折などにつながる事故、苦情件数0件を目指す」

#### 【結果】

残念ながら、入浴中による事故が1件起きてしまった。また、職員間の報告・連絡が徹底しておらず、結果利用者様に不具合をおかけしてしまった。9月にあやめで実施した「敬老会」にも参加していただき、一緒に楽しんで頂いた。

#### 【過程】

デイケアの職員数が増えたが、リスク管理の甘さから事故(入浴中)が1件起こってしまった。

### 3【計画】

「毎日の送迎において、安心して利用していただくため車両事故0を目指します」

#### 【結果】

こちらでも大きな車両事故はなかったが、新車の物損（キズ）が出来ていたにも関わらず、報告がなかった。また、伝達ミスにより利用者様の送迎忘れがあった。職員によるミスで車いすが破損する事態が起こった。ヒヤリハット報告書の提出が極端に少ない。

#### 【過程】

職員ひとりひとりに余裕がなく、ゆっくり利用者の方々と向き合えていない。また、職員同士の積極的な働き掛け（情報の伝達・協力）が出来ていない。

### 4【行事計画】実施分

4月	おやつバイキング	10月	秋の大運動会
5月	こいのぼり運動会	11月	文化祭・焼き芋バイキング
6月	作品（マスコット）作り	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	新年会
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会・おはぎバイキング	3月	ひな祭り

#### 【結果】

8月に「介護フェアinあやめ」を実施。9月の敬老会も施設内外から催し物を披露していただき、また江府町長の参加もあって盛大に行えた。

#### 【課題】

利用者の人数が伸び悩み新規を受け入れていくように進めているが、日々の業務も重なり思うように進捗していない。現利用者の中に利用回数を増やしたい方もおられるのでなるべくその希望も受けるようにして、今後も通所リハビリ利用者の増加を目指していく。また個々の介護職員の仕事上での連携が不足している為、テンポよく業務が進まない。この点の改善には、上司・先輩職員による声掛けや指導の強化を実施して、他の職員との連携強化と仕事に対する意識レベルを同等に持っていくように努めていくようにしたい。また、職員同士が意思疎通に苦慮しているようなので、この点も引き続き改善していかなくてはならない。また、正職員の介護士が現場で動けるように事務的な負担減をしていく為の対策をする。

## 令和元年度 就労継続支援B型事業所江美の郷 事業報告

### 【総括】

新規利用2名、退所4名のうち一人は短期間での退所となった。精神障がい者・発達障がい者の割合が多く、事業所内での人間関係、職員の取り合い、家庭・地域生活でのトラブルなど様々な問題がほぼ毎日起こっており、都度対応しなければならない状況が続いていたが、退所された方がかかわっていた事案が多かったため今は落ち着いている。

不調による休みや、そもそも通所ができない利用者が半分程度おり、月平均8名の利用には至っていない。

### 1【計画】

平均利用者数8名を達成し、安定的な運営を図る。

#### 【結果】

平均通所者数：5名 資料1

#### 【過程】

5月：県立皆生養護学校・米子養護学校主催地域セミナー

6月：米子養護学校生実習受入（1名） わくわく江府実習受入（1名）

9月：就労促進セミナー 10月：米子養護学校生実習受入（2名）

養護学校からの実習生2名が春からの利用となり、更にもう1名来られるのにぎやかになりそうです。また、上記の理由による利用が難しい方への支援方法など様々な取組を試行しているが結果につながっていない。

### 2【計画】

精神障がい者の理解を深め、本人の希望する生活を送れるよう支援していく。

#### 【結果】

4月：支援会議での共有（4/15） 5月：支援会議での共有（5/17）

6月：支援会議での共有（6/21）精神障がい者支援者研修会（6/7）1名参加。

7月：支援会議での共有（7/26）精神障がい者支援者研修会（7/1）1名参加。

8月：支援会議での共有（8/26） 9月：支援会議での共有（9/20）、

高次脳機能障がい研修（9/14）1名、発達障がい研修（9/29）1名

12月：発達障害研修（12/8）5名参加

1月：日野町役場の福祉課の方と振り返り（1/14）3名参加

2月：食品表示研修会（2/4）、1名参加

食品の衛生管理技術研修会（2/13.14）、1名参加

#### 【過程】

毎月の支援会議での情報共有と支援の方向性の確認などを行いながら支援を継続している。ホワイトボードにタイムスケジュールを記入することで、利用者が少しでも安心して作業できる環境を整えている。

今は落ち着いて作業ができるように支援している。

### 3【計画】

平均工賃20,000円以上を目指す。

#### 【結果】

平均額21,432円 資料2

#### 【過程】

今年度より、可能な限り多くの利用者に施設外就労に出かけてもらうよう支援している。また、カフェの売上向上のため、江府町より新商品開発補助金を受けた。

### 4【計画】

サービス品質向上の為施設内外の研修の参加に参加し、事業所のレベルアップを図る。

#### 【結果】

##### ① 施設外研修

6/7 7/1 精神障がい者支援者研修会 1名

6/11～14 サービス管理責任者指導者養成研修 1名

6/25 苦情解決事業研修会 1名,8/2.7.23 就業支援基礎研修,9/10 働くセミナー

9/14 高次脳機能障がい研修,9/25 地域共生フォーラム,9/29 発達障がい研修

##### ②施設内研修

6/25 虐待防止に関する研修（B型・訪問合同、講師：江府町福祉保健課より）

7/22.8/5.9/9.10/21.11/18.12/9 手話講習

手話講習については、前年に引き続き県社協の助成を受け実施。

#### 【過程】

今年度、精神障がい・発達障がいの研修を重点的に行っている。

### 5【行事計画・地域交流】

4月	ネットワーク江府	10月	江美の郷秋祭り
5月	日野郡観光協会・鬼太郎ロード見学	11月	スポーツレクレーション・奥大山古道ウォーク
6月	ネットワーク江府・丸京製菓まつり・江府町福祉まつり	12月	大掃除をして、そばをいただく
7月	ネットワーク江府・ろうあ者の会・移住者の集い・アイスクリーム作り	1月	新年会
8月	江府町道路拡張工事ツアー・あやめ介護フェア・江尾十七夜・大山散策	2月	お菓子作り
9月	米子養護学校見学・カレーライス作り	3月	まめトレさんを使って運動ゲーム

#### 【結果】

行事計画は概ね計画どおり出来ている。

#### 【過程】

地域交流について、時間外に行うものが多い。

## 6 【課題】

新たな作業や利用者が安心して作業に取り組むことが出来るよう作業スペースの確保が課題となっている。

資料1 利用者の契約数・利用実績及び算定加算の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約数	11	11	11	11	11	10	10	10	9	8	8	9	
開所日数	21	22	21	23	21	21	22	22	21	21	21	22	258
平均利用者数	4.4	5.0	6.0	5.3	5.4	5.6	5.0	5.2	5.0	4.4	4.2	4.8	5.0
実利用者数(単位586)	92	109	126	121	113	118	111	115	106	93	88	107	1299
初期加算(単位30)	6	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12	34
食事提供体制加算(単位30)	89	90	115	108	97	103	104	97	98	86	87	102	1176
目標工賃達成指導員配置加算Ⅰ(単位89)	92	109	126	121	113	118	111	115	106	93	88	107	1299
訪問支援特別加算Ⅰ(単位187)	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	8
福祉専門職員配置等加算Ⅲ(単位6)	92	109	126	121	113	118	111	115	106	93	88	107	1299
欠席時対応加算(単位94)	11	14	18	11	14	14	8	15	8	5	5	5	128
送迎加算Ⅱ(単位10)	166	170	229	225	205	214	203	199	197	179	173	205	2365
施設外就労加算(単位100)	76	71	115	98	86	64	76	72	61	57	55	74	905
処遇改善加算Ⅰ(5.1%)	7	7	8	7	9	8	9	10	8	6	6	7	92
特定処遇改善加算Ⅰ							9	10	8	6	6	7	46

資料2 工賃の状況

月	4	5	6	夏季賞与	7	8	9	10
支払総額	133,465	156,203	174,765	87,132	174,940	167,381	169,991	162,472
対象者数	7	9	8	9	7	9	8	9
延時間	445	467	541		535.5	463	495.5	487.5
平均月額	19,066	17,356	21,846		24,991	18,598	21,249	18,052
月	11	12	冬季賞与	1	2	3	合計	時間単価
支払総額	169,077	141,486	85,241	128,948	127,476	157,458	2,036,035	362
対象者数	10	9	8	6	6	7	95	一日単位
延時間	478	462		410	400.5	437	5622	1,811
平均月額	16,908	15,721		21,491	21,246	22,494	21,432	

# 令和元年度 相談支援事業所江美の郷 事業報告

## 【総括】

全体の契約者数43名。サービス開始・終結者があるが全体の利用者数はほぼ変更はない。

## 1【計画】

日野町・江府町の委託相談支援事業所としての地域づくり

### 【結果】

面談・電話等による不安の解消、福祉サービスの利用促進、医療機関との連携、消費者トラブル、一般就労支援等の対応の実施を行った。

### 【過程】

まだサービスにつながっていない方への対応等については、日数がかかってしまうことも多い。

## 2【計画】

計画相談支援・障害児相談支援の実施

### 【結果】

・サービス提供状況（別紙1）

（1）今年度末現在契約者数・・・43

名

（2）サービス等利用計画・継続利用支援件数 150件

### 【過程】

対象者の計画作成及びモニタリング等の実施については、各対象者の支給決定に合わせて一覧表を別途作成するなどして、漏れがないように実施している。

## 3【計画】

サービス品質向上の為施設内外の研修の参加

### 【結果】

月	会議・内容	記事
4月	・相談連絡会（11） ・日野郡連絡会（18） ・鳥取県サビ管連絡会（20） ・支援センター連絡会（22）	
5月	・相談連絡会（9） ・県障がい福祉担当者会議（22） ・支援センター連絡会（27）	
6月	・精神障がい者支援者研修（7） ・鳥取県サビ管連絡会（19） ・日野郡連絡会（20） ・鳥取県相談支援協会・研修会（22） ・支援センター連絡会（24）	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情解決事業研修会 (25)</li> <li>・ 虐待防止に関する研修会 (25)</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援従事者研修 (1.2.8)</li> <li>・ 障がい者就業・生活支援センター連絡会 (3)</li> <li>・ 中小企業家同友会バリアフリー委員会研修 (18)</li> <li>・ 支援センター連絡会 (22)</li> <li>・ 行動障がい基礎研修 (25)</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援従事者研修 (22.23)</li> <li>・ 日野郡連絡会 (22)</li> <li>・ 支援センター連絡会 (26)</li> <li>・ 行動障がい基礎研修 (27.28)</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動障がい実践研修 (5.6)</li> <li>・ サビ管更新研修 (27)</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談連絡会 (10)</li> <li>・ 日野郡連絡会 (24)</li> </ul>	
11月		
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日野郡連絡会 (12)</li> <li>・ 支援センター連絡会 (23)</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談連絡会 (7)</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談連絡会 (13)</li> <li>・ 日野郡連絡会 (20)</li> <li>・ 支援センター連絡会 (25)</li> </ul>	
3月	多くの会、研修会の開催が中止または延期となる	

#### 【過程】

必要な研修や会議には参加できている。

#### 4 【課題】

サービスがない・少ない（児童サービス・入所サービス・訪問系サービス）。  
 独居・僻地の方への支援。

#### 【検討】

・ 上記課題に対する抜本的な対応として、相談支援専門員はソーシャルワーカーとしての機能として7つの機能があるとされています。

- ① 信頼関係を形成する力
- ② 専門的面接技術
- ③ ニーズを探し出すアセスメント力
- ④ サービスの知識や体験的理解力
- ⑤ 社会資源の改善および開発に取り組む姿勢
- ⑥ 支援ネットワークの形成力
- ⑦ チームアプローチを展開する力

現段階では乏しい状況ではありますが、少しずつ郡内にも障がい福祉分野の社会資源が芽生えつつあります。「望まれる姿」を展望し、関係各所の皆さんとの協力関係により、基盤整備のシナリオを描いていけるのではないかと考えます。

委託支援センターにおける相談支援状況について（実績）

1. 障害別相談件数（件） 小文字は児童

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他	関係機関	計
延件数	9	0	102	216	56	0	0	0	0	383
実件数	3	0	13	12	3	0	0	0	0	31
延件数	11	6	8	0	6	0	0	0	0	31
実件数	2	1	2	0	3	0	0	0	0	8

2. 支援方法別相談件数（件）

	訪問	来所相談	同行	電話相談	メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	113	24	14	216	0	47	0	0	414

3. 支援内容別相談件数（件）

	福祉サービスの利用	障害や病状に関する	健康・医療に関する	不安の解消等	保育・教育に関する	家族関係・人間関係	家計・経済に関する	生活技術に関する	就労に関する
件数	51	39	46	65	10	43	10	14	48
	社会参加・余暇活動	権利擁護に関する	住宅の確保に関する	ピアカウンセリング	その他	計			
件数	0	19	0	0	69	414			

4. 地域移行件数（件）

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神症状	発達障害	高次脳機能障害	難病	その他	計
病院から	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施設から	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭から	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	0	0	0	1

別紙1 計画相談支援・障害児相談支援サービス別・加算別実績

名称(単位)	月												計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
障害者	利用支援 I (1458)	6	3	0	11	2	3	3	3	1	3	1	3	39
	継続支援 I (1207)	9	7	11	4	6	14	9	4	14	6	5	13	102
	特定事業所加算IV(150)	0	0	0	0	0	0	0	8	15	9	6	16	54
	特地加算(15%)	12	5	7	8	5	11	6	6	9	5	4	9	87
	初回加算(300)	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
	入院時情報連携加算 I (200)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	入院時情報連携加算 II(100)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院退所加算(200)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	担当者会議実施加算(100)	6	3	5	0	3	6	4	1	3	2	2	1	36
	モニタリング加算(100)	7	3	2	2	4	7	7	3	6	4	1	3	49
	計画相談機関等連携加算(100)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	行動障害支援体制加算(35)	0	0	0	0	0	0	0	8	15	9	6	16	54
	要医療児者支援体制加算(35)	15	10	11	15	8	17	10	8	15	9	6	16	140
	精神障害者支援体制加算(35)	15	10	11	15	8	17	10	8	15	9	6	16	140
	当月サービス利用者合計	15	10	11	15	8	17	12	7	15	9	6	16	141
	障害児	障害児利用支援 I (1620)	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0
障害児継続支援 I (1318)		1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	5
特定事業所加算IV(150)		0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
特地加算(15%)		1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	8
初回加算(300)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算 I (200)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算 II(100)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院退所加算(200)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
担当者会議実施加算(100)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
モニタリング加算(100)		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計画相談機関等連携加算(100)		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
行動障害支援体制加算(35)		0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
要医療児者支援体制加算(35)		1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9
精神障害者支援体制加算(35)		1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	9
当月サービス利用児合計	1	0	1	1	1	1	1	6	6	6	0	0	9	
当月サービス利用者合計	16	10	12	16	9	18	13	13	21	15	6	16	150	

補足すべき重要な事項がないことから、付属明細書の作成はしておりません

ことをご了承ください。